

比婆牛のさらなる振興に向けて

農業振興課畜産振興係 ☎0824-73-1227



乳牛と共に飼育される比婆牛素牛

乳牛から搾乳するためには、定期的
に子牛を産ませる必要があるため、こ
の方法により受胎させることで、繁殖
農家だけでなく、酪農家も比婆牛素牛
を生産する事ができ、より多くの増頭
が期待できます。

市は、比婆牛を安定生産し需要に応
えるため、比婆牛素牛の増頭に向けた
取り組みを進めています。
その取り組みの一つに、乳牛を代理
母牛とした、受精卵移植があります。
この方法は、比婆牛素牛となる和牛の
受精卵を使って乳牛を受胎させ、出産
させるものです。

比婆牛増産への取り組み

市は、さらなる比婆牛振興を図るた
め、本年度も引き続き、比婆牛素牛の
増頭や消費拡大に向けた取り組みを行
っています。
今回はその取り組みの一部を紹介し
ます。



2月号の表紙に掲載した子牛も順調
に成長しています

乳牛から搾乳するためには、定期的
に子牛を産ませる必要があるため、こ
の方法により受胎させることで、繁殖
農家だけでなく、酪農家も比婆牛素牛
を生産する事ができ、より多くの増頭
が期待できます。

市は、比婆牛を安定生産し需要に応
えるため、比婆牛素牛の増頭に向けた
取り組みを進めています。
その取り組みの一つに、乳牛を代理
母牛とした、受精卵移植があります。
この方法は、比婆牛素牛となる和牛の
受精卵を使って乳牛を受胎させ、出産
させるものです。

「G1登録された比婆牛を増やし 守りたい」 受精卵移植に取り組み 株式会社 ツールファーム 社長 田川 吉勇さん



当社では、令和3年1月以降、現在ま
で24頭の比婆牛素牛を飼育しています。
飼育経験のない和牛を育てることに
難しいと感じる場面が何度ありまし
た。生後1カ月までは、和牛の子牛は、
乳牛と比べ、人工授乳させることに手が
掛かりました。

しかし、2カ月目以降、哺乳ロボット
で乳を飲むようになり、また乳牛と同じ
餌を食べるようになってからは、乳牛と
同じように飼育することができるよう
になりました。

ただ、やはり初めての和牛飼育で分か
らない部分もあるため、今後も経験者か
ら教えていただきながら、元氣な比婆牛
素牛を増頭できるよう、この取り組みを
継続していきたいと考えています。

比婆牛の消費拡大への取り組み

市は、比婆牛の認知度向上と販路拡
大に向け、広告掲載など、積極的なP
Rを行っています。

この度、比婆牛復活から、比婆牛振
興の中心的役割を担っているあづま蔓
振興会の主催による、「比婆牛販売促
進会」が6月22日、広島市中央卸売市
場食肉市場で開催されました。

この販売促進会は、比婆牛だけの枝
肉（牛肉のかたまり）のせりで、市内
外から8頭が出品され、せりの開始前
から、購買者が枝肉を下見し、購入価
格を検討していました。

下見が終わると、せりが開始され、
枝肉が一つずつ購買者の前を通り、順
に落札されていきました。

せり終了後には、あづま蔓振興会か
ら、購入者全員に、庄原市ブランド米
セットが贈られ、最高額での購入者に
は、盾と記念品が贈られました。

今回の「比婆牛販売促進会」を一つ
のきっかけとして、農家の比婆牛素牛
の生産意欲向上につながるよう、関係
者一同期待しています。



せりの開始前にあづま蔓振興
会会長の木山市長があいさつ
を行った